

切実要求、力合わせ実現を



大阪 国会報告・懇談会に 29 団体

山下、辰巳両参院議員、堀内前衆院議員が参加

党大阪府委員会は3日、大阪市内で国会報告・要求懇談会を開き、29の労組・市民団体、38人が参加しました。山下芳生副委員長（参院議員・比例代表予定候補）、辰巳孝太郎参院議員（選挙区予定候補）が報告、堀内照文前衆院議員があいさつしました。

辰巳参院議員は、「森友」の国会質問が13回に及んだことを紹介し、「森友」公文書改ざん問題の重大性を指摘。小池書記局長の予算委質問（2日）でたびたび審議が中断し、そのたびに辰巳さんが委員長席に詰め寄ることができるようになったのは14議席に躍進し予算委の理事ポストを獲得できたからだとして、参院選勝利の決意をのべました。

山下参院議員は▽「働き方」改革▽経済・社会保障▽9条改憲▽野党共闘の4テーマで報告。「働き方」改革では、高度プロフェッショナル（残業代ゼロ）制度には労働時間のあらゆる規制を免除する「異次元の危険」があることを強調。9条改憲では「改憲の焦点は、自衛隊が違憲か合憲かでなく、無制限の海外派兵を許すかどうか」であり、「3000万署名は自衛隊が合憲と思っている人にもこの角度から訴えよう」とのべました。野党共闘の今国会での発展も紹介しました。

討論では20人が発言。消費税10%、保育士不足、年金引き下げ、自治体の非正規、UR住宅の家賃減免、子どもたちの受診手控えと健康破壊、原発再稼働、学校現場への外部指導員配置、カジノ万博など様々な問題が報告されました。

山下参院議員はまとめて「出された要求は国政に結びついている。運動を広げて国政の課題とし、それと結んで国会論戦でリアルに追及したい。諸悪の根源は安倍政権であり、共同の力で打ち倒そう」とのべました。柳利昭大阪府委員長もあいさつ、宮本岳史衆院議員、山下、辰巳両参院議員秘書が参加しました。



清水さん 野党共同街宣で「働き方」、原発を訴え

ミナセン大阪の「野党共同街頭宣伝『働き方改革NO！原発のない社会へ！』」が4日、大阪市・梅田のHEPFIVE前で行われ、清水忠史前衆院議員は、「ブータン」（豚のぬいぐるみ）との掛け合いで大いに盛り上げました。他の弁士は、自由党：渡辺義彦、社民党：服部良一、新社会党：柏本景司、緑の党：野々上愛の各氏。立憲民主党はメッセージを寄せました。

「障害者の政治参加質問よかった」堀内さんが宮本質問を報告

宮本岳史衆院議員が予算委分科会で障害を持つ人の参政権が侵害されている問題で質問（2月23日）、野田総務相から前向きな答弁を引き出しました。質問づくりに関わった堀内照文前衆院議員は、兵庫障害者連絡協議会事務所へ宮本質問速記録を届け報告。「リアルタイムで見えていました。よかった」など歓迎の声が上がっています。

●堀内さんが色々話を聞いて下さり、それが国会質問になって良かったです。

●野田大臣も重度障害のお子さんがあるので、わかってくれると思う。そういう感じの質問の仕方をされていたのも良かったと思います。結構前向きな答弁だったので、これからどう改善されるのか期待したい。また何かあればお知らせするので、これからもよろしくお願ひします。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel 06(6975)9111 Fax 06(6975)9115

No. 13(2018.3.5)